



トップが女性活躍を推進!

学びと成長をサポート

福田道路株式会社

安全環境部 品質環境課

金崎 幸香さん

(勤続22年)



やっぱり欲しいに、精一杯お応えする 金崎 幸香

profile

勤続22年。平成8年に入社し、一般職として主に経理を担当してきた。平成23年にISOを主に行う品質環境課に配属され、ISOの環境と品質の実質の責任者となる。全国に80拠点ある事業所をくまなく回り、1年間で必ず1回、内部監査を実施し、月曜と金曜以外はすべて出張という月も。かつては男性職員の重鎮が担当していた仕事であったが、女性ひとりでしっかりとその役目を果たし、上司からの期待と信頼も厚い。



福田道路株式会社

【業種】建設業
 ● 女性従業員数/従業員数 87人/670人 (正社員、非正規社員含む)
 ● 女性従業員のうち、正社員数 30人
 ● 女性管理職数/全管理職数 0人/171人
 ● 女性管理職割合 0%
 代表取締役社長 河江 芳久
 新潟市中央区川岸町1-53-1
<https://www.fukudaroad.co.jp/>

<会社概要>
 明治35年創業の株式会社福田組は、昭和24年に新潟県下で初の道路舗装部門を発足。昭和45年、同部門は、福田道路株式会社として独立。現在、全国に12本支店、43ヶ所の営業所・工場他をもつ。事業内容は、総合建設業、不動産業、地域・都市開発事業等。平成22年新潟県ハッピー・パートナー企業登録。

ポイント1 トップが女性活躍を推進

福田道路はかつて、女性社員は補助的な業務を担う人という風土があった会社でした。平成21年の社長交代が大きなきっかけとなり、それまでのことを改め女性社員にもどんどん活躍の場を広げていって欲しいと女性活躍推進をスタートしました。当社の場合はトップが言い続け、方針にもきちんと落としこんでいます。それが女性社員の安心感と働きやすさにつながっています。社長が味方であり、「社長に後押しされているから、がんばらなきゃ!」という気持ちになっっています。建設業界は男性社会です。これは



ポイント2 職能資格等級制度の見直しを図る

これまでの役割や制度を見直しながら、女性社員にも男性社員と同等に仕事を任せるようにしました。従来あった職能資格等級制度を昨年4月に見直し、女性社員も男性社員と同様に昇格や役職に就くことが可能な制度としました。今まで女性社員には明確にできなかった昇格要件などについても具体的に示すようにしました。業務に必要な公的資格を取得しないと昇格できないため、悪く受け止めれば昇格しづらくなる可能性もあります。初めは反発があるかもしれないと思いますが、会社は資格取得を応援するということが、資格取得奨励金制度の対象にもなることを説明し、チャレンジを奨励しました。その甲斐あって資格を取得する女性社員が一気に増加しました。一人ひとりが成長できないと、組織としても成長できません。福田道路は「学び続ける」ことを経営方針として位置付けています。

ポイント3 社長とのダイレクトミーティング

昨年は2回ほど女性社員向けの研修を実施しました。また、社長と女性



ISOの内部監査を通じて改善点を客観的にアドバイス

ポイント4 頑張っている女性社員をアピール

社員の代表者17名とダイレクトミーティングを実施し、職能資格取得制度の見直し等に向けた率直な意見交換を行いました。本社以外の女性社員は直に社長と接する機会が少ないため、「社長から直接、会社方針について話が聞けるのはとても有難い、すごく良かった。」という声が多かったです。初めは女性活躍を推進することはそう簡単ではないと思っていましたが、女性社員が前向きで、「私たちも成長しなければいけない。資格も頑張っています。」と言ってくれました。

外向きの発信はちょっと苦手な会社ですが、今進めている社内取組が今後は徐々にアピールされていくのではないかと考えています。女性活躍推進などの取組が社内でも浸透し、社員が様々な方と接することによって社外にもアピールできやがては良い意味で当社がブランド化されていくのではないかと。昨年入社

ポイント5 通信教育をご家族も受講できる

通信教育は2つあり、業務に必要な通信教育は全額会社が費用負担して受講が必修になります。もう一つは自己啓発支援のための通信教育を補助しており、修了すると受講料の半額を会社が負担し、さらにご家族も1名まで受講可能です。昨年からは始めたばかりですが、奥様がペン字や筆、娘さんが秘書検定を取得された方もいます。1年に1人1講座の受講ができ、更にご家族もこのアイディアです。社員一人ひとりの将

来のためになる約230コースの講座があります。興味のあることで、自分で見つけて受講して、修了すれば半額会社から補助が受けられますから、必修と言われて受講する講座より、とても楽しく学べます。

message 金崎 幸香さん

現場の人から質問をされた時にしっかりと答えられたり、お礼を言われたり、研修にきて話して欲しいと言われたときに、みなさんに教えられるだけの成長ができた実感があります。期待していただけなのはすごく有難く自信につながっています。新しいことへの挑戦が継続の力になっています。

「一緒にお話を伺った方」
 管理本部 総務人事部長 佐藤栄一さん

interview memo

業界的に「男性社会」であったからこそ、女性に対する思いやりや優しさが企業風土としてあり、今、女性活躍を推進するうえで、そのことがプラスに作用していると感じた。時代の流れとは言え、大半を男性が占める業界において大変な変革である。そこを突破するには、トップのリーダーシップが欠かせない。会社方針として明確に舵を切り、社長自らが真正面に取り組みむことで、全社員の心が一つになり、目指す方向へと一気に歩み始める。